

裏面白紙

查該院職費少祿原英太郎 惟各院門者二任也之々々々  
解應重入用之々々 曰可幸也 此是身也如後此飲  
及依於

大正五年一月十三日

惟各院門者二任也

查該院職費少祿原英太郎

樞密院

過日御依頼相成候別紙  
小松原英太郎履歴書及  
御送付候也

大正五年一月二十五日

貴族院庶務課  
庶務課

貴族院

樞密院事務局  
御中

内閣府... 修...  
 信... 藩...  
 信... 藩...

族籍 岡山縣士族  
 氏名 小松原英太郎  
 支那時 嘉永五年二月一日

籍貫 岡山縣  
 本籍 岡山縣  
 現住所

年号月日	任	免	賞	罰	廳名
明和四年四月廿一日	外務省御用掛被申付身分取扱判任二				外務省
	准一ヶ月金五拾圓宛被下候事				
	但外務省本局勤務被申付候事				
七月六日	條約改正局勤務被申付候事				全上
十月廿八日	記録局勤務受付課長被申付候事				全上
今日	外務卿付書記兼務被申付候事				全上
十二月十二日	准奏任御用掛被命				全上
	月俸七拾圓下賜相成候事				
十四年三月十八日	公信局勤務被仰付候事				未取直
四月一日	外務權少書記官被任候事				
	正七位被叙候事				本取直
六月三十日	依願本官被免候事				全上
十月廿五日	自己便意				
十二月廿八日	外務少書記官被任候事				全上
十五年二月十七日	從六位二被叙候事				全上
三月廿四日	兼太政官少書記官被任候事				本取直
五月十日	文書局幹事被仰付候事				本取直
六月六日	參事院議官補被任候事				全上
	法刑部勤務被仰付候事				全上
十七年五月十七日	外務省御用掛兼勤被仰付候事				全上
	兼太政官權大書記官被任候事				全上
六月十三日	外務書記官被任候事				全上
	獨逸國柏林府公使館在勤被仰付候事				本取直
六月三十日	但年俸英貨六百八拾磅下賜				全上
	正六位下被叙候事				全上

貴族院

職務格別勉勵  
 有方慰勞金百  
 圓下賜

めくれず

獨逸國へ赴任の上在佛羅倫斯公使館へ出張申付奉事

外務省

七月十三日

獨逸國へ向ケ出張

十八年三月廿一日

獨逸聯邦梅格陵堡大公殿下に贈與シテ

賞勳局

十九年三月廿五日

公使館書記官に被任候事

内閣

今日

奏任官二等に被叙

外務省

今日

上級俸下賜

外務省

三月廿七日

臨時代理公使相勤候に付代理公使年俸中

全上

今日

級俸下賜

全上

二十年六月十四日

獨逸國皇帝陛下に贈與シテ赤鷲第三等勳章ヲ

賞勳局

受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事

歸朝

十月八日

内閣

内務省参事官に被任候事

内閣

奏任官二等に被叙

内務省

今日

上級俸下賜

内務省

十二月七日

内務省文官普通試験委員に命ス

貴族院

二十一年二月二日

郡區長試験委員に命ス

内務省

二月廿二日

中六衛生會委員に命ス

内閣

三月廿六日

道路條例會取調委員に命ス

内務省

五月三日

任内務大臣秘書官

内閣

今日

奏任官二等賜上級俸

内務省

今日

内務省文官普通試験委員に命ス

全上

今日

郡區長試験委員に命ス

全上

五月七日

中央衛生會委員に命ス

内閣

十月一日

郡制府縣刑元老院議定に付シテ付内閣委員に命ス

全上

十月十九日

官林官有地取調委員に命ス

全上

五月廿三日

職務格別勉勵に付金百五十拾圓賞與

内務省

二十一年三月六日

大府府兵庫縣岡田縣廣島縣山口縣へ巡回に命ス

全上

三月廿二日

陸叙奏任官一等

内閣

今日

下給俸下賜

内務省

七月一日

内務省官制調査に命ス

全上

(米書)



めくれず

今日	叙高等官一等	全上
十二月二日	司法省所管事務政府委員被仰付	全上
三十一年一月十八日	法典調査會委員被仰付	全上
三月廿四日	條約實施取調委員長ヲ命ス	司法省
三月廿四日	名古屋控訴院并名古屋控訴院三地方裁判所ノ出張ヲ命ス	全上
四月五日	新法典施行並改正條約實施取調ニ從事シ勤勞不尠依テ全參百円ヲ賞與ス	全上
四月七日	任内務次官	中閣
今日	叙高等官一等	中閣
四月十二日	内務省文官普通試驗委員長ヲ命ス	内務省
今日	神職試驗委員長ヲ命ス	全上
四月十五日	東京市區改正委員長被仰付	内閣
九月二十日	鐵道會議議員被仰付	全上
十二月二十日	職務格別勉勵ニ付金五百円賞與	内務省
貴族院		
三十三年三月十日	貴族院令第一條四項ニ依リ貴族院議員任ス	
五月二十日	任内務統務長官兼内務省官長	内閣
今日	叙高等官一等	内閣
六月廿七日	港灣調査會々長被仰付	全上
十月廿五日	依願免本官並兼官	全上
十一月一日	東京市區改正委員長被免	
十二月七日	依願法典調査會委員被免	
十二月十日	叙從三位	
三十三年六月十三日	錦鷄間祇候被仰付候事	宮内省
三十三年五月十五日	叙勳二等授瑞寶章	實勳局
今日	内務總務長官在官中明治三十三年清國事變ニ於テ功ニ依リ勳二等瑞寶章及金子五百円ヲ授ケ賜フ	實勳局
三十三年五月廿一日	法典調査會委員ノ職ヲ奉シ盡力勤シラヌ依テ全一箇ヲ賜フ	實勳局
三十三年四月一日	授旭日重光章	實勳局
明治三十七八年事件ノ功ニ依リ旭日重光章ヲ授ケ賜フ		實勳局

賞与者 法典調査會委員等  
賞金百五十圓下賜  
八五上  
同上 全上

(朱)

(米)

八月二十日	韓國白王帝陛下より贈與シテ勲一等大極章ヲ授領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル	賞勲局
四十二年三月二十八日	臨時海任農商務大臣	内閣
九月三日	免官	全工
四十四年七月二十日	叙正三位	内閣
八月三十日	依願免本官	内閣
大正元年八月一日	明治四十五年勅令第六號旨依リ韓國併合記念章ヲ授與セラル	賞勲局
二年六月三十日	教育調査會々員被仰付	内閣
元年八月二十日	明治四三年八月水害際東京府外府三縣罹災窮民ノ金百圓賑恤候奇特ニ付爲其賞木杯一組下賜候事	賞勲局
三年三月十七日	明治四三年五月青森市火災ノ際罹災窮民ノ金百圓賑恤候奇特ニ付爲其賞木杯一組下賜候事	全上
今年三月三十日	明治四二年七月大阪市北區火災ノ際罹災窮民ノ金百圓賑恤候奇特ニ付爲其賞木杯一組下賜候事	全上
貴族院		
五年一月十三日	任樞密顧問官	
一月十五日	願ニ依リ貴族院議員ヲ免ス	